

hiropi_chart

DMA3 × 3とDMA25 × 5でトレードの
目処をつけよう！

ひろびーチャートテクニカル紹介

- ・DMA3×3とDMA25×5は順張りで使う。
または相場反転シグナル、レンジシグナルとして使う。
- ・DMA25×5、EMA62、EMA144、SMA200、
(SMA800)は大きなトレンド発生して、そのトレンドが大きく反転しかけている最中から使う。

DMA3 × 3

- スラストというトレンドの発生の有無を図る指標
- トレンドが一旦終息するか否かを判断する基準線
- 持っているポジション量を初期調整シグナル

本日はDMA25 × 5を紹介

- 大きなトレンド反転の初動を察知する。
- レジサポラインとしてもワークすることが多い。
- 上昇トレンド→高値圏もみ合い⇒下落トレンド
この3動作を予め予測するツール。

最も多用する局面

- 大きなトレンド発生後、ウェーブが荒くなってきたタイミング。
- トレードのポジションコントロール役
- 反転相場

動いている実際のチャートへ！

延長戦

生き残るプレイヤーになるためには。

どうしてもトレードで勝てない人へ

- 毎日のエントリーを1pips引き付けてください。
- 利食いの指値を1pips引き上げてください。
- 損切のエントリーを1pips引き上げてください。

押し目と戻りばかり狙うな！

【一番危うい例】

- 押し目と戻りトレードがほとんどで、成行注文している人。

押し目と戻りばかり狙うな！ 2

- 安全を見過ぎて、ポジションを持った後のリスクを考えないケース。
- ⇒チャートへ！

ブレイクアウトで 大きく獲れるようになれ！

- ブレイクアウトする5~20pips手前から、突っ込んで勝負。
- この時は成行売買が多い。または浅い指値。
- ⇒チャートへ

DMA3 × 3 (再掲)

- スラストというトレンドの発生の有無を図る指標
- トレンドが一旦終息するか否かを判断する基準線
- 持っているポジション量を調整シグナル